

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.7

令和6年5月15日(水)

文責：校長 園田栄作

度島(ここ)にしかない発想で、歓声と笑顔に包まれた運動会！

12日(日)は、あいにくの荒天となり、13日(月)に延期という形で実施させていただきました。平日開催となったにもかかわらず、びっくりするくらいの参加者があり、有難いことに予定していたすべてのプログラムを執り行うことができました。

児童生徒はこれまで練習してきた力を思う存分発揮しようと、かけっこやリレーでは、ゴールテープを切るまで全力で走ったり、度島ソーラン2024では、腰を低くし力強い演技を行ったりして、精一杯頑張りました。たくさんの参観者に観ていただけたおかげもあり、いつも以上に力が入っていました。

園児のかわいい「かけっこ」や「夢をかなえてドラえもん」、子どもに負けまいと必死で走ったPTA種目の「親子リレー」、熟練のプロの技が光った地域種目の「ホールインワン」など、それぞれの良さが光ったプログラムで、歓声と笑顔に包まれた運動会となりました。

テーマの通り、協力して、さいごまで勝利を目指したから素晴らしい成長がありました。また、学校・保育所・保護者・地域が一緒になって行うことで、笑顔と元気になれる度島(ここ)にしかない発想のかけがえのない運動会となりました。昨年から区長さんをはじめとしたメンバーで、何度も話し合いを重ね、実現に向けご尽力いただいたことに、心より感謝申し上げます。



5/14 (火) 解団式で締めくくる！

運動会では、赤組、白組それぞれが一つになる種目である応援合戦は、目玉の一つでした。それぞれが工夫を凝らし、本番では声がかかるくらい応援をしたり、精一杯振りをしたりして、勝利への思いを表しました。

翌日の14日(火)に、一つの区切りとして、解団式を行いました。赤組、白組に分かれ、団長や副団長から団員に向け、全力で頑張ったことへのねぎらいの言葉や感謝の言葉が伝えられました。また、団員からは、中心になって頑張ってくれた中学生や小学5・6年生に向け、お礼の言葉もありました。特に中学3年生においては、昨年度から応援の内容や組み立ての構想を練るなど長い期間にわたり力を注いできました。



これで、解団という形になりますが、今回お世話してくれた中学生や小学5・6年生の献身的な姿は、小学4年生以下の子どもたちの心の中にいつまでも残り続けていくに違いありません。



会場の片付けありがとうございました！

PTA や地域の皆様においては、最後の片付けまでお手伝いいただきありがとうございました。競技のみならず、係まですべて自分たちで行ってきた子どもたちにとって、テント運搬など重たい作業をしてくださったことは、とても有難かったです。安全に片付けを行うことができました。

こうして、大人の方が自然に片付けなどをしてくださる姿は、子どもたちのお手本であり、憧れです。子どもたちの行動の中にも、「代わります!」「手伝います!」と気持ちよく率先して作業を行おうとする心と態度が身についています。身近な手本が、子どもの良き学びとなっています。